

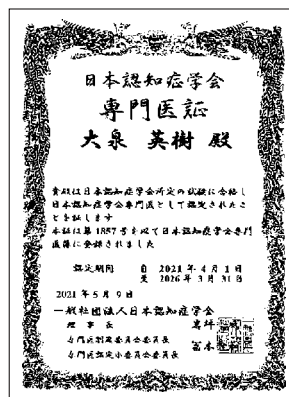
仙台西多賀病院 地域医療連携室だより vol.58

日本認知症学会専門医に2名合格し、 当院は認知症教育施設認定を受けました！

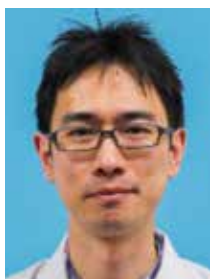


当院は、2015年9月1日に仙台市の指定を受けて、認知症疾患医療センター（地域型）を開院致し、私は認知症疾患医療センター長として活動させていただいています。当センターは開設時の2015年9月1日から2021年3月31日まで合計約1700人の新規受診患者さんに対して、診療を行ってまいりました。近年、早期診断・早期治療および予防を推進して認知症患者の増加を食い止め、福祉・介護・ケアを含めた認知症医療の質を向上させるニーズがあります。さらに認知症の病態解明の進展とその成果に基づく新しい治療法の開発が進み、近い将来認知症の発症を遅らせる治療方法の確立が期待されています。2021年6月8日アルツハイマー病（AD）の病理に作用する初めてかつ唯一のAD治療薬として、米国のFDAによりアデュカヌマブが認可され、将来本邦でも認可されることが期待されています。このような中で、認知症の広範な知識と技術を有して、科学的エビデンスに基づく認知症医療に取り組む専門医の育成が急務となっています。今回、2021年4月に日本認知症学会専門医試験に私と馬場徹医師2名が合格し、当院は認知症教育施設認定を受けました！認知症教育施設認定制度は認知症関連他学会の専門医を持つ医師が認知症の専門的な指導を3年間受けた後に、認知症専門医の受験資格が得られる認定制度です。今後も認知症診療の質の向上に努め、患者さんに役立つように努めてまいります。

大泉脳神経内科医長（認知症疾患医療センター長）



認知症・パーキンソン病関連疾患の専門家養成を目指します



皆さま、日頃より当院の診療に対してご理解・ご支援並びに緊密な連携を賜り厚く御礼を申し上げます。

私は2年間の内科研修を経て脳神経内科医として脳卒中や神経救急疾患を中心とする一般臨床を続けたのちに、大学院で武田篤先生の指導のもとパーキンソン病の認知機能予後に関する臨床研究を行い、大学院卒業後の2012年からは東北大学病院高次脳機能障害リハビリテーション科で認知症の診断・治療に関する専門診療・臨床研究に取り組んできました。2014年秋からは当院の非常勤医師として週1回の物忘れ外来を立ち上げ、さらに当院が仙台市から指定を受け認知症疾患医療センターを開設した2015年9月からは同センターでの業務にも従事し、2018年4月に当院に籍を移してから認知症・パーキンソン病関連疾患を中心とする専門診療・臨床研究を継続しています。

この度、当院認知症疾患医療センター長の大泉英樹先生とともに日本認知症学会専門医および指導医資格を取得し、当院は日本認知症学会の専門医教育施設にも認定されることとなりました。これを機に認知症・パーキンソン病関連疾患の専門医教育にも力を入れていきたいと考えております。

当院では東北大学大学院高齢者認知・運動機能障害学講座も開設しており、専門医資格だけでなく社会人大学院生として博士号取得も可能です。また当院には神経心理学を専攻したスタッフが私を含めて多数在籍しており、神経心理学的診察法を学ぶ環境も整っています。ご興味のある先生は是非ご連絡ください。

馬場脳神経内科医長（パーキンソン病センター長）



仙台西多賀病院 共同利用装置のご案内



SPECT-CT 装置 シーメンス シンビア インテボ SIEMENS Symbia Intevo

搭載している CT 装置を使った正確な画像で
骨病変、心臓疾患、パーキンソン病、認知症の
早期診断を行っています。

医療機器共同利用とは？

当院が保有している医療機器（SPECT-CT・MRI・CT・骨密度測定装置）
を各医療機関の先生方に、自由にご利用いただくシステムです。

SPECT-CT
案内動画は
こちらから

<https://youtu.be/DwPJEpwS7ug>



共同利用装置ラインナップ

**MRI・CTの
共同利用案内は
こちらから**

[https://sendainishitaga.hosp.go.jp/
bumon/radiation_mrict.html](https://sendainishitaga.hosp.go.jp/bumon/radiation_mrict.html)



**SPECT-CT 装置
SIEMENS Symbia Intevo**



**MRI 装置
SIEMENS AERA 1.5T**



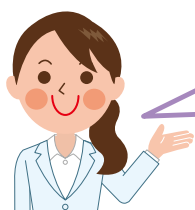
**CT 装置
CANON Aquilion RXL**



**骨密度測定装置
HOLOGIC Discovery Wi**



読影レポートと画像CDをレターパックで後日ご返送します



ご利用をご希望される先生は、
下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

放射線科直通番号

 **022-245-2264** (担当：なすかわ)

認知症疾患医療センター NEWS

～新たな大きな一歩～

「認知症疾患医療連携協議会」を開催しました



コロナ禍のため開催を延期しておりましたが、令和3年5月28日に疾患医療センター初の協議会を開催することができました。

認知症疾患医療連携協議会は、地域の連携強化のため、医師会などの保健医療関係者、地域包括支援センターなど介護保険関係者、認知症医療に関する有識者、市町村等から組織され、疾患医療センターの事業評価、地域の認知症に関する支援体制づくりに関する検討等を行うことを目的に設置されます。

当日は、協議会外部委員のなとうクリニック理事長内藤久実子先生、太白区障害高齢課吉田課長、自生苑統括施設長山本様、茂庭地域包括支援センター阿部様、秋保地域包括支援センター松山様の出席を賜り情報交換をさせていただきました。

認知症疾患医療センターの事業内容と役割を説明し令和2年度の実績を報告、その後意見交換の時間を設けました。地域にかかりつけ医を持つために連携しあうこと、医療機関の受診に繋がらない方への対応などについて話し合われました。緊急性のある場合には、診療や相談を迅速に対応するなど柔軟な対応を継続してほしいと要望を受けました。

地域の実情に応じた医療・介護の連携のもと疾患医療センターの機能を強化できるよう努めてまいります。

保健師 橋谷田 由美

患者さん達からの贈り物

① 苗・球根

地域医療連携室の真向かいにルーフバルコニーがあります。職員の好みで様々な草花が植えられています。そのバルコニーに球根を植えて欲しいと在宅で療養している患者さんのお母様より球根（ダリヤ）をいただきました。球根は毎年倍々に増え今年もたくさんの花を咲かせてくれました。また長期で療養している患者さんから向日葵の苗をいただきました。

患者さん達は新型コロナウイルス蔓延の中、外出や面会が制限され不自由な生活を強いられています。この場所は唯一、外の空気に触れることの出来る場所でもあります。

② 車椅子

「いつもお世話になっているリハビリテーション科で役立てて欲しい。」と、任意で活動している患者団体から、車いす2台が寄贈されました。贈呈式には代表として千葉遥さん、鎌田慎也さんが出席されました。リクライニング機能のついた車いすは貴重です。離床のきっかけにもつながると思います。

患者さんやご家族のあたたかい気持ちや、また別な患者さんの励みになり、コロナ禍で制限の多い入院生活を支えてくださっています。この場をお借りして、感謝を申し上げます。ありがとうございました。

相沢医療社会事業専門職



「西多賀病院 認知症ケアチームの紹介」

こんにちは、認知症看護認定看護師の西川です。今回は当院の「認知症ケアチーム」の活動について紹介させていただきます。当チームは令和元年5月、脳神経内科医・MSW・認定看護師の3名でスタートし、現在は薬剤師・保健師・栄養士なども加わり総勢10名となりました。週に1回、入院している認知症患者さんの治療や経過、看護ケアについてそれぞれの職種の専門性を発揮しながらチームカンファレンス・病棟ラウンドを実施しています。当院は手術目的で入院される方も多いですが、術後せん妄の予防的介入としてパンフレットによる指導や内服薬のチェック、病棟看護師との連携、必要時には認知機能検査なども行い、安心して手術を受けていただける環境作りに努めています。

認知症がある方にとっては、ご家族と離れ日常と異なる環境に身を置くことは非常にストレスの多いことです。そのストレスを少しでも軽減する目的で、昨年度よりiPadを導入しました。音楽鑑賞や囲碁・将棋などのレクリエーションの他、必要時にはリモートでの面会も行っており、ご家族から好評をいただいております。

今後も患者さんとそのご家族に寄り添った医療を提供できるよう、多職種チームならではの強みを活かして院内の認知症ケアに取り組んでいきたいと考えています。

認知症看護認定看護師 西川 菜央



第15回パーキンソン病・運動疾患コンgresに参加して

私は今回、第15回パーキンソン病・運動疾患コンgresに参加し、疾患を抱えながらも自宅療養を目指す患者さんとそのご家族への退院支援について発表を行いました。私の所属する中央3階病棟はパーキンソン病をはじめ、多系統萎縮症や大脳皮質基底核変性症など、脳神経に起因する様々な疾患を抱えた患者さんが最新の治療を受けられています。このような疾患は完治することが難しく、徐々に進行していく疾患であり、進行に伴い運動機能障害だけでなく認知機能の低下やうつ症状など非運動症状も出現していくため、患者さんの生活の質を下げないためにも多職種間での連携が必要となります。

また今回参加した学会では、医師、看護師、薬剤師、放射線技師など多職種の方々が参加しており、疾患の病態生理から最新の診断・治療方法まで幅広く様々なことを学ぶ機会となりました。私たち看護師は、患者さんやご家族と接する機会が他のどの職種よりも多く、患者さんやご家族から一番近い存在です。そのため、医師や職種間と患者さんやご家族を結ぶ架け橋となるよう尽力していかなくてはなりません。そのためには、看護師一人一人が疾患に対する理解を深め、自己の看護を振り返る機会を持つことが重要ではないかと感じました。

中央3階病棟では、脳神経内科医師による講義や病棟師長・副師長、係を中心に接遇事例カンファレンスを盛んに行っています。こうした場を設けることで患者さん中心の看護について考えさせられ、看護師として責任を持った行動に繋がると考えます。私も今回の学会で得た学びを他スタッフと共有し、「患者さんやご家族のために自分たちは今何ができるのか。」ということを常に念頭に置き、患者さん中心の看護が実現できるよう努めていきたいと考えています。

中央3階病棟看護師 蓮田小百合



外来担当表

区 分			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
整形外科	せばね	新患	古泉 豊	川原 央		山屋 誠司	国分 正一
		再来	国分 正一	国分 正一	川原 央	古泉 豊	国分 正一
			山屋 誠司	両角 直樹		鈴木 学	
				八幡健一郎			
	関節	新患			田村 則男 (第1・3・5週)		
		再来			大出 武彦 (第3水曜日休診)	田村 則男	
	せばね・関節		須田 英明	須田 英明	須田 英明	須田 英明	
側弯症						両角 直樹※1	
脳神経内科	新患	馬場 徹	高橋 俊明	武田 篤	吉岡 勝	金原 禎子	
			田中 洋康		大泉 英樹		
	再来	武田 篤	吉岡 勝	武田 篤	大泉 英樹	田中 洋康	
		菊池 昭夫		高橋 俊明 馬場 徹	金原 禎子		
内 科		三浦 明	三浦 明	長崎 明男 (第2・4週)		三浦 明	
			荻部 明彦 (循環器専門)※2				
リウマチ内科			星 陽介				
小 児 科		小林 康子 (成長発達)	小林 康子	午前 小林 康子 (乳児健診・予防注射) 午後 小林 康子	小林 康子		
脳神経外科		永松 謙一※3				永松 謙一※3	
泌尿器科				東北大学医師 (第2・4週)	武弓 俊一		
遺伝カウンセリング						午後 荻部明彦または 高橋俊明※2	
もの忘れ外来 ※4		大泉 英樹	武田 篤	馬場 徹	午後 佐久間博明または 荒井啓行	金原 禎子	
禁煙外来				武田 篤	荻部 明彦		
歯 科						佐藤 敦※5	

令和3年10月1日 現在

※1 脊柱側弯症の新患患者様のご紹介は、側弯症外来日（金曜）にお願い致します

※2 内科火曜日の循環器専門外来及び金曜日の遺伝カウンセリング外来は完全予約制です。

※3 脳神経外科は主にパーキンソン病に関連した診療を行っています。

※4 もの忘れ外来は診療情報提供書が必須で完全予約制です。

※5 歯科外来は主に入院患者の診療を行っています。



独立行政法人国立病院機構

仙台西多賀病院

〒982-8555

宮城県仙台市太白区鉤取本町2丁目11-11

◎電話：022-245-2111(代表)

◎FAX：022-243-2530

◎URL：http://www.nishitagahosp.jp/

地域医療連携室(直通)

◎電話:022-245-1810

◎FAX:022-245-1811

発行 行／仙台西多賀病院地域医療連携室

発行責任者／地域医療連携室長 高橋 俊明

※仙台地下鉄を利用して来院される場合は八木山動物公園駅または長町南駅をご利用ください。

※東北道を利用して来院される場合は仙台南ICをご利用下さい。(東北道～山田ICまた、山田IC～東北道はご利用できません。)

